

## 北陸地域において実施する「南相馬チャンネル」映像提供実験の概要

平成23年8月31日

## 経過説明

- 3月11日 東日本大震災発生
- 5月21日 南砺市長より支援を打診  
南相馬市長より支援要請
- 6月2日 東北総合通信局へ支援要請
- 6月8日 北陸総合通信局へ支援要請
- 7月8日 南相馬副市長、北陸総合通信局長  
総務省への説明
- 7月20日 南相馬チャンネル実験局開局
- 8月31日 本協議会設置
- 9月1日 北陸地域映像提供実験開始

### 南相馬市が抱える3つの課題

放射能

津波による  
住居被害  
(仮設住宅問題)

人口流出

### 被災地情報化支援の課題

- ・通信インフラの被災
- ・高齢者(情報弱者)対策

### フェーズ1

ホワイトスペース(テレビ、ワンセグ)を利用した情報提供手段の提供  
2011年7月20日開始

南相馬市の被災者へ放送を使った情報提供(実験局免許にて実施)

### ゴール

(ホワイトスペースとICTを活用した被災地復興)

地域経済の振興

緊急時のすみやかな情報提供

高齢化社会における情報提供手段の確立

雇用の確保

被災地の復興・振興

### フェーズ3

他の被災地・全国の避難者への展開

### フェーズ2

通信(テレビ、パソコン、スマートフォン)を使った情報提供  
2011年9月1日開始

北陸の一時避難宅にいる被災者への情報提供

### フェーズ3

他の被災地・全国の避難者への展開

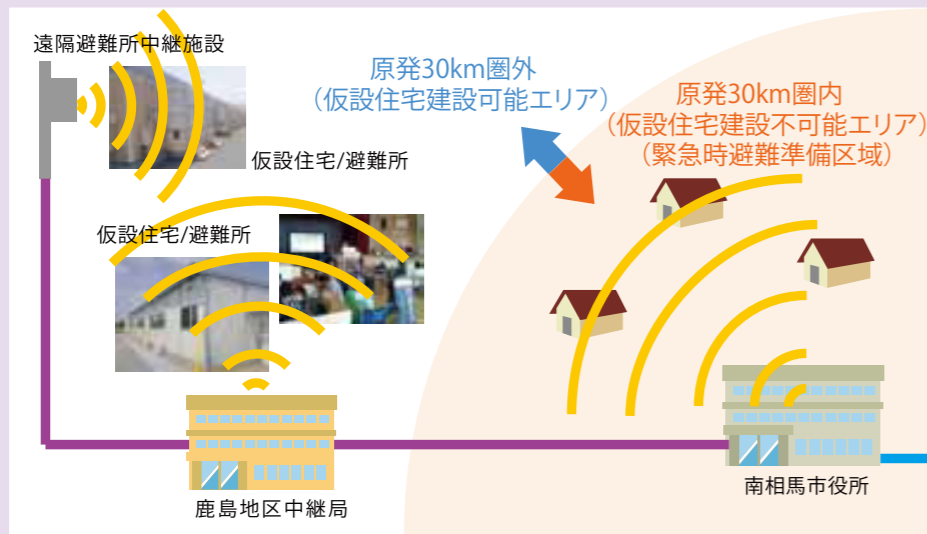
南相馬市内にお住まいの方々への情報提供

遠隔地に避難しているの方々への情報提供

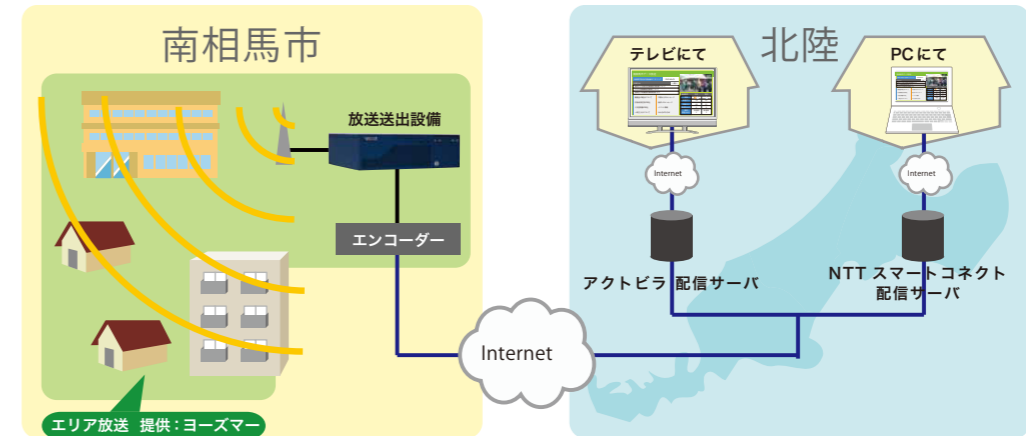
フェーズ1

ホワイトスペース(テレビ、ワンセグ)を利用した情報提供手段の提供

2011年7月20日開始



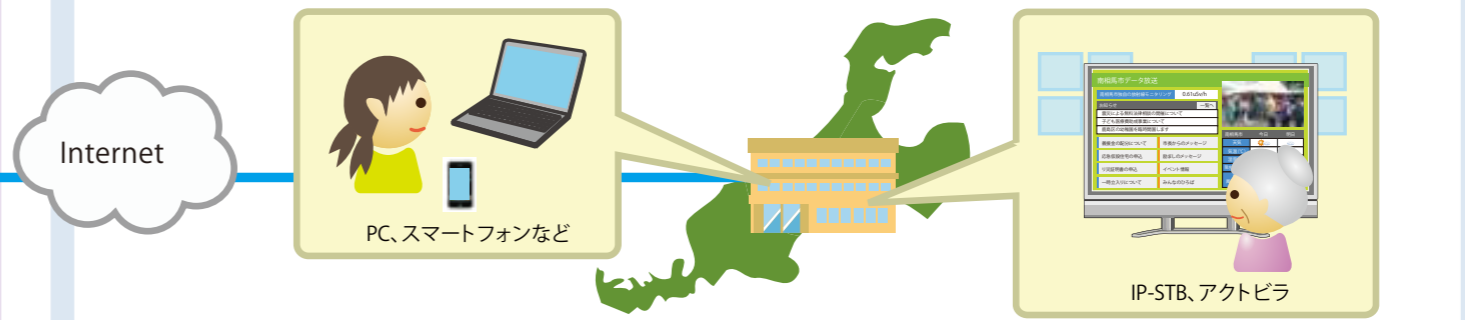
南相馬市の被災者へ放送を使った情報提供(実験局免許にて実施)



フェーズ2

通信(テレビ、パソコン、スマートフォン)を使った情報提供

2011年9月1日開始



北陸の一時避難宅にいる被災者への情報提供

高齢者が多く、ICTが使いこなせない  
 緊急時避難準備区域等、屋外での情報収集が難しい  
 情報インフラが被災しており、活用が難しい

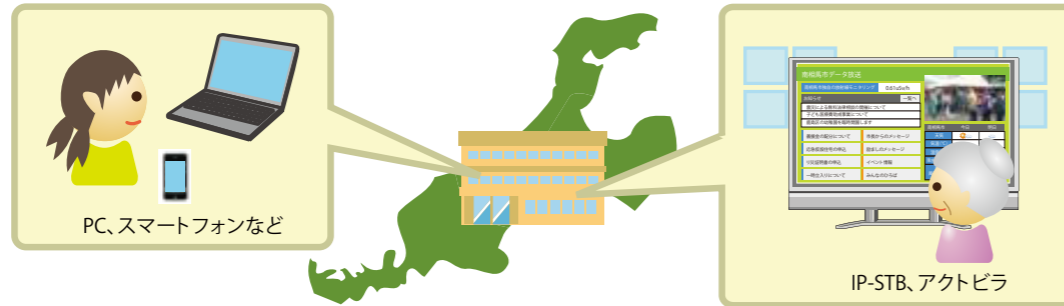
避難者の情報取得手段の現状が明らかになっていない  
 (通信環境、デジタル端末等、情報リテラシーの不足懸念)

遠隔地に避難している方々への情報提供

フェーズ2

通信を使った情報提供

2011年 9月1日 開始



北陸の一時避難宅にいる被災者への情報提供

「南相馬チャンネル」北陸地域映像提供実験支援協議会による検討事項

避難者の情報取得手段が明らかになっていない

部屋ごとの視聴形態分析（パソコンとテレビの設置場所及びインターネット接続状況）

視聴率（アクセスログ）によるコンテンツニーズ分析

国等に対する提言、要望

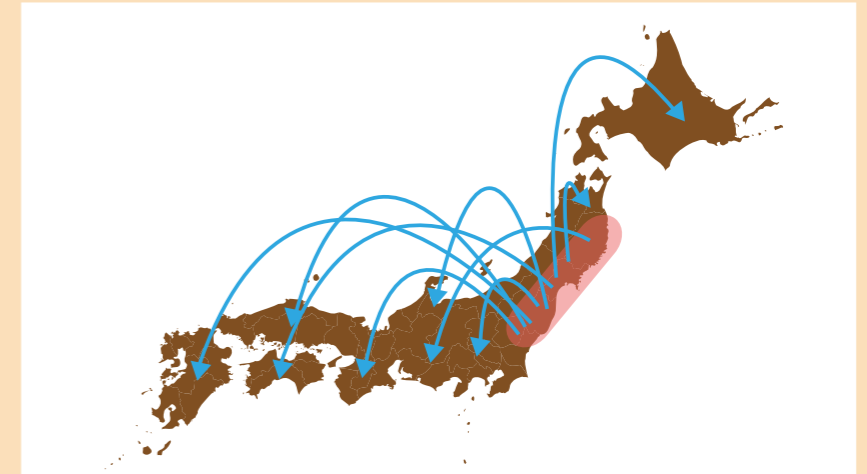
(通信環境、デジタル端末等、情報リテラシーの不足懸念)

IPTVを活用したライブストリーミングの機能実証

パソコン/スマートフォンによる視聴実証・実験

アクトビラの仕組みを活用したビデオオンデマンドの視聴実証

フェーズ3



他の被災地・全国の避難者への展開

9月1日～12月末

報告書の取りまとめ

被災自治体

全国の被災者支援

に向けた実験の取りまとめ